

台東区子ども・子育て支援事業計画（中間改訂版）
「中間のまとめ」に対する意見と回答

No が塗りつぶしになっている項目は台東区次世代育成支援地域協議会委員からの意見

台東区の子育て環境

| No | 意見 | 区の考え方 |
|----|---|---|
| 1 | 多くの若い夫婦が台東区に来てくれているが、いざ子育てという段階になると他区に流出しているように思う。実際、他区の方が利点が多いという話をよく聞く。若い人達に定着してもらうためにも、子育て支援を手厚くした方が良いと思う。 | 若い人たちに区に定着していただくためにも、区民ニーズを的確に把握して、必要とされる事業について検討していきます。 |
| 2 | <p>保育所等入所者数 グラフ中平成27年28年の入所者数は2,403人、2,585人だが、7ページの表中B確保の3号+2号(左記以外)の総数と差異がある。差異の理由は。</p> <p>(例：平成27年5ページ 2,403人 7ページ3号1,436人+2号(保育必要)1,428人=2,864人 28年も同様5ページ 2,585人 7ページ3,091人)</p> | 5ページの表中の入所者数は、各年4月1日時点の認可保育所、認定こども園(長時間児)地域型保育事業の入所人数を掲載しています。また、7ページの確保数は、上記施設の定員に加え、認証保育所や区独自事業(緊急保育室等)の定員数を含んでいます。そのため、差異が発生します。 |

教育・保育の量の見込み並びに提供体制の確保の内容及びその実施時期

| No | 意見 | 区の考え方 |
|----|---|---|
| 3 | 保育園のニーズ等実績に基づいて計算されているが、実態としてはもっと厳しい数字になるのではないか。 | 今回の中間の見直しでは、平成27年度以降の実績に基づき、量の見込みを推計しております。引き続き、保育所申請状況等を注視し、必要な場合には、見直しを検討してまいります。 |
| 4 | 昨年度は保育園の入園決定率が23区で最下位。元々他の区に比べて低い数値だったのにも関わらず、改善がされているように思えない。0~1歳の人口が急増したためにさらにひどくなっている現状でこの対策ではまだ見込みが低く、待機児童の改善につながるとは思えない。 | <p>本区では、多様化する保育需要の受け皿として、認証保育所や家庭福祉員等を整備しております。</p> <p>ご指摘の入園決定率については、これらの保育サービスの利用は含まれていないものでございます。</p> <p>また、増加する保育需要に対応するため、これまでも様々な手法により、新たな施設の整備を進めてまいりました。</p> <p>今回の中間の見直しでは、平成27年度以降の実績に基づき、量の見込みを推計しております。引き続き、保育所申請状況等を注視し、施設の整備等を進めてまいります。</p> |

| | | |
|---|---|--|
| 5 | <p>保育所不足を懸念して、これ以上人口減少となれば、今後の高齢化社会を支え、経済を支える若者がますます少なくなる。子どもを産んでも安心して子育てができるよう保育所の整備と、保育士の確保は急務だと思う。</p> | <p>これまでも民間の認可保育所の誘致に加え、区有地や公有地の活用による保育施設の整備、大規模マンション等の建設時における小規模保育施設の開設など、様々な手法で施設の整備を進めてまいりました。</p> <p>また、多様化する保育ニーズの受け皿として、保育士等のキャリア育成補助や宿舍借り上げ補助など、人材確保のための対策につきましても進めてきたところでございます。</p> <p>今後も、見直し後の本計画を着実に進め、待機児童解消に向けて取り組み、教育・保育環境の向上を図ってまいります。</p> |
| 6 | <p>年々保育施設は増加しているが、小規模保育の数が多く、3歳からの転園も困難なのが現状。小規模より5歳までの認可保育園を増やしてもらいたい。(小規模と5歳までの保育園のバランスを見直してもらいたい)</p> | <p>9ページの確保策の方針と対応策の記載のとおり、新規施設は0～5歳を1施設で確保できる認可保育所を考えておりますが、需要が集中する0～1歳については、多様な保育サービスの選択肢という観点からも、小規模保育所等の整備を進めてまいります。</p> |
| 7 | <p>待機児童の数値を算出するのに、認可外保育施設の数値を含めるのはいかがなものか。親が入園させたいのは、5歳まで預かってもらえる認可保育所。小規模保育では3歳児でまた保育園探しが必要になる。</p> | <p>認証保育所等の認可外保育施設については、保護者の就労形態や就労時間の多様化などによる様々なニーズの受け皿となっており、確保数に含めております。</p> |
| 8 | <p>計画見直しにより、待機児童がなくなり、保育の必要な方が入園できるようになるのは良いこと。良い施設や良い保育環境が提供できるよう、取り組んでほしい。</p> | <p>見直し後の本計画を着実に進め、待機児童解消に向けて取り組み、教育・保育環境の向上を図ってまいります。</p> |
| 9 | <p>新設園の整備が進んでいるにも関わらず、待機児童は増加傾向にある。台東区の園の現状と事業計画が地図上で示されていると分かりやすい。</p> <p>待機児童対策には、定期利用保育室の役割も大きいと考える。</p> | <p>本区の園の現状につきましては、「認可保育園、こども園等 案内図」を10ページに追加しました。なお、今後の開設計画については、現時点で未定となっておりますのでお示しすることはできません。</p> <p>また、本区では、平成29年4月に「根岸定期利用保育室」を開設し、運営しております。</p> |

| | | |
|----|---|---|
| 10 | <p>30年度に3号認定の過不足数でマイナスが発生していることは計画途中とはいえ問題。この確保できなかった部分に対する何かしらの対策はあるか。退職せざるを得なくなってしまった場合の保障やサポートも考えないと子育て支援にならない。</p> | <p>今回の計画では、教育・保育の量の見込みに対する提供体制の確保の実施時期は、計画最終年度の平成31年度末としております。</p> <p>しかしながら、認可保育所の整備については、通年公募を実施していることから、事業者から開設時期等の前倒しの提案があった場合には、適宜、対応してまいります。</p> |
| 11 | <p>保育士の免許を持っている区職員を配置転換することで緊急保育室など運営できないか。</p> | <p>保育士資格を有する区職員については、認可保育所の配置基準に基づき、既存の公立保育園に配置されていますので、他職場への異動は困難です。</p> |
| 12 | <p>4月度入園のポイント制において、早生まれの子は半年待機点の2点が足りず、ほぼ認可保育園に入れたい。同じ年に生まれた場合には差がつかないように対策をしてほしい。</p> | <p>保育の必要性を点数化し、必要性が高い児童が入所することを目的に保育所入所基準を定めております。生まれ月が異なっても、保育の必要性は同等であると考えられるため、ご提案のような加点については難しいと考えております。</p> |
| 13 | <p>食物アレルギーのある子供は認証保育所や認可外保育施設に敬遠されるため、認可保育所に入れなかった場合には不利な状況になる。認可保育所に入れなかった場合にも預かってもらえるような制度を作してほしい。認可保育園に入れなかった場合の受け皿が台東区は少なすぎる。</p> | <p>認証保育所等においても、給食提供の際のアレルギー対応等は実施しておりますので、各園にご相談ください。</p> |
| 14 | <p>家庭支援センターは必要だとは思いますが、ベテランの先生方もいるので保育園に変更できないか。</p> | <p>子ども家庭支援センターでは、子育て総合相談や親子のふれあい、地域との交流など、子育て支援の拠点としての役割だけではなく、児童虐待防止に向けて、関係機関との連携や要保護児童及び家庭の支援を実施しております。</p> <p>保育園に在園している児童の家庭だけではなく、すべての区民が安心して子供を育てることができる地域環境の形成を図るためにも、子ども家庭支援センターは大変重要であると認識しており、保育園への変更は考えておりません。</p> |

| | | |
|----|--|---|
| 15 | <p>9ページの 保育ニーズの方針でエ.に ” 31年度末までに...設定します ”と記載があるが、「待機児童をゼロにする」の文言を加えて欲しい。計画通りに保育所を設定しても過年度の様に待機児童が増えては真の目的を達成したとは言いがたい。</p> | <p>ご指摘の文言は、個別の確保策についての記載になっております。そのため、全体的な考え方を述べている7ページの文章を修正し、以下の表記にいたしました。</p> <p>“教育・保育の量の見込みに対する提供体制については、計画最終年度の平成31年度末までに整備し、保育所待機児童の解消を目指します。”</p> |
| 16 | <p>保育施設の数を増やすことに努力していることは伝わってきた。しかし、現状として足りない。幼稚園について、魅力を伝えるだけでなく、保育園を希望しても入れない子たちのために、預かり保育を充実する方がよいと思う。</p> <p>また、認証保育所から認可保育所に移行すると金銭面ではメリットがあるが、点数的にどうしても入れない人には困る場合もある。どちらも増やしてほしい。</p> | <p>教育・保育の量の見込みにおいて、1号・2号認定ともに確保数が量の見込みを上回っていることから、保育園希望の方の確保策として区立幼稚園の預かり保育の実施は現時点で考えておりませんが、現在も私立幼稚園の中には預かり保育を実施していただいている園もございます。更なる預かり保育の充実については、私立幼稚園関係者の方々と相談・検討してまいります。</p> <p>また、保育の新規施設は、新制度の給付対象となる施設（認可保育所等）といたしますが、認証保育所については、現状の量を確保してまいります。</p> |
| 17 | <p>区内の子育て状況の推移を数値で確認できて分かりやすい資料だった。</p> <p>個々の幼稚園の入園情報についてホームページの充実等もっと入手しやすくしてほしい。</p> | <p>区立幼稚園の入園情報については、ホームページのほか、広報たいとうやメールマガジンでもご案内をしておりますが、なお、充実に努めてまいります。</p> <p>私立幼稚園については、ご要望を各園にお伝えします。</p> |
| 18 | <p>1歳の子供が2人いるが、とても育児しやすい区だと感じている。</p> <p>幼稚園入園予定なので、区立幼稚園のホームページがもっと分かりやすいとありがたい。</p> | <p>区立幼稚園のホームページにつきましては、内容が分かりやすく、幼稚園教育の魅力が十分に伝わるような充実したものとなるよう努めてまいります。</p> |

| | | |
|----|---|--|
| 19 | 希望する保育園に入園したくてもできない。もっと仕事と子育ての両立を応援してもらいたい。せめて幼稚園に延長保育があると助かる。 | 教育・保育の量の見込みにおいて、1号・2号認定ともに確保数が量の見込みを上回っていることから、保育園希望の方の確保策としての預かり保育の実施は現時点で考えておりませんが、次期計画も見据え、様々なサービスを検討してまいります。 |
| 20 | 幼稚園におけるサービス拡充とは、預かり時間の延長など、2号認定のニーズの吸収を意図した内容か。それとも、教育プログラムの拡充などか。 | 幼児教育の更なる質の向上を図ることを主として、幼稚園の魅力を高める様々なサービスを検討してまいります。 |
| 21 | 女性の社会進出が著しい中、14時までの保育というのは時代に遅れてきている。区立幼稚園も近隣区や私立幼稚園のような延長保育や長時間保育などを実施しないと、幼児教育無償化が現実となったら存続の危機に直面すると思う。区内幼稚園には「短時間」と言う枕詞がついてしまっていて残念。もう少し考えてほしい。 | 区立幼稚園は公的な幼児教育を行う場として、その役割を果たしてきました。今後、区立幼稚園における幼児教育の質の更なる向上や、サービスの拡充について検討してまいります。 |
| 22 | 0～2歳、3～5歳の人口は微増しているが、幼稚園の入園率が減少している。保育園・こども園への入園が影響しているのだろうか。 | 保育所等入所率が増加し、幼稚園の入園率が減少していることから、働く女性の増加などライフスタイルの変化による影響が大きいのではないかと考えられます。 |
| 23 | 保育に関する第三者評価の結果を受けて、雑誌やWEBで台東区の保育の質が最下位とされるようなコメントや記事がある。計画の中に、保育・教育の質についての具体的な施策もしくは文言を入れるべきではないか。ランクが上位の区の制度や、制度には表れない運用などにどんな差があるのか(ないのか)比較して、反映させてほしい。 | 本計画を包含する「台東区次世代育成支援計画」において、「基本目標2 教育・保育の質と量を充実する」という目標を設定し、教育・保育サービスの質の向上に向けて、具体的な取り組みを記載しております。 |

地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制

| No | 意見 | 区の考え方 |
|----|--|---|
| 24 | 子育てに関する情報が働いていることが前提の様に思える。家庭で子育てをしている親と子どもに対する支援はどの様に考えているのか。家庭で子育てをしている親が、悪い事をしている様な気持ちになったり、周囲から批判的な目で見られたり言われたりした事があれば問題だと思う。 | 子ども家庭支援センターや一時預かり事業、ファミリー・サポート・センターなど、在宅で保育をされている方も対象になっている事業についても、当計画に基づき実施されております。 |
| 25 | 「子育て」に関して、多くの部署や人員が動いているという事を実感した。ただ、あまりにも担当部署が多く、細かく分かれているため、知識のない保護者ではなかなか理解しにくいサービスもあると思う。もう少しコンパクトで分かりやすい組織を作るとか、小学生未満・小学生以下・中学生以下・それ以上の4つ位のグループ分けをし、グループごとに総合窓口があり、その窓口で情報を共有できるシステムがあったらいいと思う。 | 子育てに関する事業については、まず、子育て・若者支援課の子育てアシストにご相談いただければ、情報提供いたします。さらに詳細なことや手続きが必要なものについては、担当の部署をご案内いたします。 |

(2) 放課後児童健全育成事業(こどもクラブ《学童保育》)

| No | 意見 | 区の考え方 |
|----|--|--|
| 26 | 子供がこどもクラブ大好きで、本当によくしてもらっており、ありがたい。先生方にも、とてもかわいがってもらっている。 | 今後も引き続き、みなさまに安心してご利用いただけるよう実施してまいります。 |
| 27 | 全ての小学校で放課後子供教室が実施されるのは、子供の居場所ができ、大変ありがたい。 | 全ての児童にとって、安全・安心な放課後の居場所づくりを推進するため、今後とも放課後対策を進めてまいります。 |
| 28 | 放課後子ども教室の記述を欄外に出したのは、事業の位置づけの差もはっきりし、読みやすく感じた。 | 台東区では引き続き、放課後の居場所として、放課後子供教室、こどもクラブ、児童館など総合的に実施してまいります。これらの事業につきましては、それぞれ密接にかかわる事業ですので、区民のみなさまに分かりやすいよう、本項目内に記載をさせていただきました。 |
| 29 | こどもクラブの待機児童問題が読み取れない為、待機児童数(低・高学年別)の推移と希望学童待機率(学童保育を希望し入れなかった人数/学童希望者数×100(%))等を示し、現状を明確化して欲しい。その上で、目標値及び特に を示すと問題点の改善が数値的に理解されると思う。 | 本計画に記載しております、平成27年度から29年度の間、こどもクラブの定員は申請数以上に確保されておりますが、特定のこどもクラブへの登室を希望される等の理由により待機児童が発生しております。そのため、本計画では量の見込みと確保数における過不足数を記載させていただいております。 |

(4) 地域子育て支援拠点事業

| No | 意見 | 区の考え方 |
|----|---|---|
| 30 | 子ども家庭支援センターがあるのはすごく助かっているが、日曜・祝日でも開所してくれるところがあるとよい。 | 日曜日・祝日の開所について、効率的な職員体制や経費等を総合的に勘案すると難しいと考えております。 いただいたご意見につきましては、参考とさせていただきます。 |

(5) 一時預かり事業

| No | 意見 | 区の考え方 |
|----|--|---|
| 31 | 表題が少し分かりにくい。「一時預かり事業(幼稚園在園児)」「一時預かり事業(幼稚園在園児以外)」の表記だとシンプルで分かり易い。 | 幼稚園在園児かそうでないかという事業分類ではなく、「幼稚園における在園児を対象とした一時預かり」かそれ以外という区分のため、正確を期してこの標記とさせていただきます。 |

幼稚園における在園児を対象とした一時預かり

| No | 意見 | 区の考え方 |
|----|---|---|
| 32 | 在園児対象の一時預かりは、区立幼稚園は含まれないのか。区立幼稚園は、区内の各所にバランス良くあるので、含まれないとすればもったいない。 | 在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)につきましては、区立幼稚園は含まれておりません。計画期間中の確保数は、量の見込み(ニーズ)を上回っており、不足はないものと見込んでいます。次期計画策定に向けて、事業の拡充について検討していきます。 |

幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外

| No | 意見 | 区の考え方 |
|----|--|--|
| 33 | 墨田区では、地域プラザや子育てひろばに短時間の一時預かりがある。台東区にも気軽に一時預かりをしてもらえる場所があるとうれしい。 | 本区では、一時的な預かり事業として、区内5か所の保育園等での一時保育、ファミリー・サポート・センター及びいっとき保育を実施しております。 いっとき保育については、谷中地域において、新たに実施施設を1か所整備します。 |
| 34 | 急遽、どうしても子供を預けたい時に確実に預けられる場があると助かる。 | 本区では、一時的な預かり事業として、区内5か所の保育園等での一時保育、ファミリー・サポート・センター及びいっとき保育を実施しております。 いずれの事業においても、お子さまを安全にお預かりするために、事前の面接や打合せ等を実施しております。 |
| 35 | いっとき保育をたまに利用するが、月に2度利用できれば良い状況。リフレッシュ目的での保育利用が可能な施設の整備は計画されていないのか。 | 平成30年度にいっとき保育実施施設を新たに1か所整備し、子育て世帯の一層の利便性向上を図ります。 |

(6) 病児・病後児保育事業

| No | 意見 | 区の考え方 |
|----|--|---|
| 36 | 区内1カ所の設置で23区内で最も少ない。施設当たりの保育サービス利用児童数も、台東区では約3,000人/施設であり最も少ない千代田区(330人/施設)の8倍以上、23区全体の平均(約1,840人/施設)の1.6倍近い状況である。にもかかわらず過不足数が0というのはいささか乱暴な計算ではないかと考える。病後児の預け入れニーズは日単位に変動するものであり、一般の保育と同じように年間を通じた総数で充足するかを判断すべきではない。風邪などの流行シーズンなど、利用ピークに対して十分な受け入れ体制があるかを評価すべきである。実態としては、施設の少なさも相まって、利用したくともできない潜在的なニーズは相当数あると考えられるもののそういった潜在ニーズに関する考慮が見られない。 | 本区では、ニーズの変化に柔軟に対応するため、平成28年度から「居宅訪問型病児・病後児保育利用料助成事業」を開始しております。確保数については、病後児保育施設の利用と、本事業の利用を合わせた数としております。 |

(7) 子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)【就学後】

| No | 意見 | 区の考え方 |
|----|---|--|
| 37 | 表題に「就学後」とあるが、ファミサポは未就学の乳幼児も利用するサービス。ここではニーズを未就学と分けて取っているのか。 | 未就学のファミリーサポート・センター事業については、「(5)の一時預かり事業等」に分類させていただいております。 |

(8) 利用者支援事業

子育てアシスト

| No | 意見 | 区の考え方 |
|----|---|---|
| 38 | 子育てアシスト実施場所は区役所窓口のみで、今後、子ども家庭支援センターのあそびひろばなど、実施場所を増やすことはあるのか。 | 現在も区内3か所ある子ども家庭支援センターにおいて、ひと月に各1回ずつ子育てアシスト事業を実施しており、区ホームページや情報紙などで実施日をお知らせしております。 |

【参考】その他 ご意見

(下記のご意見については、当計画の記載内容の範囲ではありませんが、今後の業務の参考とさせていただきます。)

| No | 意 見 |
|----|---|
| 39 | 台東区の保育料は23区内でも高いほう。単純に金額で比較すれば、台東区より高い区は複数ある。区の歳入を児童一人当たりで換算すると23区中2位と高水準だが、保育サービス全般の水準や保育士の給与が高いわけではなく、納得感のある料金設定とは言えない。 |
| 40 | 児童手当の所得制限をなくしてほしい。産婦人科のある病院(産める病院)を増やしてほしい。保育園に入りやすくしてほしい。 |
| 41 | 低所得世帯が優遇されすぎていて、子どもから離れてがんばって働くのが時にさみしく感じる。生活保護費あまりにも高すぎて、正直納得がいかない。子ども手当があまりにも少ない、年収別にするのは改めてほしい。 |
| 42 | 助産院利用の助成制度が最近始まったようだが、断乳時のケアにも助産院利用の助成金導入をお願いしたい。 待機児童が多く、安心して仕事探しができる状況にない。働きたいけど、働けない女性への支援も考えてほしい。 |
| 43 | 谷中地区等、小児科の少ない地域があるため、インフルエンザの予防接種を他の予防接種同様、他区の小児科等で受けることができればありがたい。 |
| 44 | 量・内容ともに充実したもので期待の持てる内容である。今後も期待している。尚、今後小児科医の不足・偏在が懸念されるので、配慮してほしい。 |
| 45 | ドラッグストアやベビー・子供服のお店は区内1件は欲しいです。必要な物が一括で揃わず不便。 |
| 46 | 新御徒町・蔵前・田原町駅近くに薬局が少なく不便。 |
| 47 | 台東区内にはベビー用品店や薬局が少ないのでもう少し増やしてほしい。気軽に行ける赤ちゃんのショッピングモールを増やしてくれるとうれしい。 |
| 48 | 所得が低い世帯に手厚い補助がある一方で、所得が高い世帯には無い。頑張っても損をする気がしてならない。 子供用品を買う所が無く、遠くまで行かなくてはならず困っている。区でベビー用品店等を誘致して欲しい。 子供を連れて行けるレストランが増えて欲しい。保育士がいる区のレストランなどがあると助かる。 |
| 49 | 浅草・蔵前周辺に赤ちゃん用品を買える所を増やしてほしい。 |
| 50 | 保育利用の選択肢が増え利用者が戸惑う中、受託児童の保護者から区役所が手厚く対応していると聞く。おこさんが取り敢えずは小学校入学まで、ご家庭が育児を成長過程として捉え、安心して過ごせるように情報共有しつつ、信頼関係を重視し、利用しやすい(本命の)保育園に入園できることを目標に、入園後も集団生活を自然に受け入れる心や身体の成長とご家庭の成長への見通しを伝え保育を实践するように努力している。方針に理解を頂き、保育に専念できる事業所を運営させて頂き誠に感謝している。 |